

## 入学前のMRワクチンを忘れずに

2007.11.29

11月の積雪は27年ぶりだそうで、子どもたちには楽しくもあり、風邪を引いて辛い季節でもあります。インフルエンザの流行も11月にしてはずいぶんと続けて報告があり、楽しい冬休みの前の外来は、ワクチンをする子どもとゲロ風邪で点滴する子どもとでしばしの賑わいです。

この季節は来年の小学校入学に向けて、新一年生がいる家庭では期待と喜びであふれていることでしょう。デパートに行ってランドセルや机を選ぶのはとても楽しいことです。

昨年の新一年生から、入学前にもう一度麻しんと風疹のワクチンをする事が決まりました。今年の夏、多くの大学や高校で麻しんが流行してニュースになったのを覚えている方もおられるでしょう。現在ワクチンがある病気はワクチンをしないでいると命を落としてしまうか、流行によって多くの子どもたちに奇形や障害をもたらすことがはっきりしているものがほとんどです。麻しんは罹ってしまうととても高い確率で命を落とすことが知られていますし、風疹が流行した年には、先天性風疹症候群といわれる心臓や耳の病気を持って生まれるお子さんが多くいることも知られているところです。自分の命を守るため、あるいはこれから生まれるお子さんが問題を生まれながらにかかえずに済むように、個人個人がワクチンを受けることが必要です。

就学時健診を受けられたお子さんは、そのときにMR（麻しん風疹混合）ワクチンを入学までに済ませるようにと働きかけがあったと思います。学校に入ること子どもは社会の一員としての一翼を担うこととなります。めんどくさい、時間がないという理由でワクチンを受けずに入学されるお子さんもいらっしゃいますが、本当にそれでいいのでしょうか？子どもは社会の宝です。その宝を輝かせるのも、腐らせるのも周りの大人の問題です。もうすぐ今年も終わります。今年最後のプレゼントに来年の新一年生はMRワクチン。ぜひ忘れないでてくださいね。